

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・都市計画課	評価者 (課長)	有馬善己	評価責任者 (部長)	岡村洋道
事務事業コード	014020	事務事業名	地籍調査事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	快適で安全なまちづくりの推進			【実施なし】 -%	
	推進施策の展開	都市計画区域内市街化区域や市街化調整区域等については、地区計画や開発許可制度などを活用し総合的かつ合理的な土地利用の規制と誘導を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】 -%				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内全域の土地	意図(どういう状態にしたい): 地籍調査を行うことにより、土地の開発・保全や利用の高度化及び固定資産税の公平化が図られる。	事業の内容 (手段)	国土調査法に基づき、毎筆の土地の境界、面積、所有者、地目及び番地の調査と測量を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	国土調査法に基づき、一筆地調査と測量を実施した。 湯野地区 0.24km <sup>2</sup> 、鹿野下地区 1.31km <sup>2</sup>						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	22,098	22,238	21,755	28,215	22,238
事業目標	目標名	地籍調査実施済面積	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	6,771	6,851	6,592	7,903	6,851
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	20,800	21,718		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	2.00	2.00	1.80	1.50	1.50	(決算額)	うち一財	千円	6,013	6,474		現地調査、測量範囲の増。	
	実績値	1.48	1.38	1.55			正職員人件費	千円	24,173	21,446				
	達成度(%)	74.0%	69.0%	86.1%			人工数	人	3.30	2.90	3.15			
							支出コスト	千円	決) 44,973	決見) 43,164				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 地籍調査事業 (施設等整備事業)		周南市内の土地	土地の境界を確定させ、地籍簿、地籍図を法務局に登録する。	一筆ごとの土地について、その所有者、地目及び地番の調査、境界の測量、面積の測定を行い、地籍図、地籍簿を作成する。	市内1.55km <sup>2</sup> の地籍調査を行い、図根点の座標及び土地の境界を確定を行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 限られた予算の中で実施しているが、山林部の境界を把握されている方々の高齢化が進みつつあるので、事業の充実を図る必要がある。				B	改善案	国や県に対し、予算の要望を行い、効率的な事業実施を図る。					
	② 地籍成果等交付事務 (経常的勤務事業)		地籍調査の成果	地籍調査完了地区の基準点情報を工事に伴う測量等に活用する。	調査の成果情報を的確に提供する。	一筆図形や集成図、基準点情報の交付を行い、分筆などの筆の移動や工事などの測量に役立てた。	0.35	0	409	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	都市再生街区基準点許可事務 (経常的事務事業)					DID地区に設置された都市再生街区基準点	境界の復元や分筆登記のため測量に必要な基準点の適正な管理を行う。	土地利用の促進を図るための測量が円滑に行えるように情報を的確に提供する。	工事等で基準点が利用され、正確な測量が速やかに行われた。	正職員	臨時等
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					A	改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	山口県には、山林部の字限図がなく、早急に山林部の調査を進める必要がある。しかし、現地調査を実施するにあたり、土地精通者や境界の分かる土地所有者が高齢化しているため、境界の確認が困難になってきている。	前年度までの指摘事項	事業完了までには長時間を要するが、先導的な調査の実施等により将来の地籍調査に繋げるなど、着実に進める必要がある。	指摘事項に対する改善状況	長期計画を策定し、計画的な事業推進を図っていききたい。
	細事業の課題・問題点	境界を決めるのには土地関係者の立会が必要となるが、地権者には高齢者が多く、山林に所有する筆の立会が難しくなっている。		事業全体の課題・問題点		事業の受益や税の公平性を考慮すると、出来る限り早い時期の市全体の完了が望ましいが、人員と予算の確保が課題である。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	本事業は、土地政策の根幹であり、土地の有効利用、土地取引の安全性や公共事業の円滑化、課税の適正化などの重要な役割を担っており、早期完了を目指して、毎年着実に実施する必要がある。	改善案	調査推進のための予算措置・確保に努めると共に、地権者の立会方法の効率化を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	事業完了までには長期間を要するが、重要な施策であるため、国・県と連携して着実に進めて行く必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600401
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(1)快適で利便性の高い都市計画の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
	現地調査、測量範囲を広げたことに伴う予算の増額。

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・都市計画課	評価者 (課長)	有馬善己	評価責任者 (部長)	岡村洋道
事務事業コード	015005	事務事業名	都市計画一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	快適で安全なまちづくりの推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	都市計画の総合的な指針となる「周南市都市計画マスタープラン」に基づき、地域特性に応じた個性ある魅力的なまちづくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 安全で快適に暮らしていけるまちづくり、計画的な市街地の形成を図る。	事業の内容 (手段)	都市計画審議会の運営、その他都市計画に係る法的事務等を実施する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	都市計画決定:4件(市3件、県1件)、都市計画審議会開催:2回、都市計画法第53条届出:5件、駐車場附置義務届出:6件(新規3件、変更3件)、地区計画届出:25件(新規18件、変更7件)、屋外広告物申請:559件(新規42件、変更25件、更新492件)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	2,732	6,653	4,866	2,104		3,000						
事業目標	目標名	都市計画決定件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	796	4,619	2,830	208	800
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,163	5,834			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	4.0	1.0	3.0	3.0	3.0	(決算額)	うち一財	千円	0	3,695		臨時的経費の皆減による。	
	実績値	4.0	1.0	3.0			正職員人件費	千円	24,905	23,294				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	3.40	3.15	2.60			
							支出コスト	千円	決) 27,068	決見) 29,128				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		まちづくり推進関連業務 (経常的事務事業)	都市計画関連事務	計画的なまちづくりを推進する。	都市計画に係る施策等の連携・調整を効果的・効率的に推進する。	都市計画に係る問合せ等窓口事務やまちづくり関連事務を効率的に行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								1	0	5,510	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 まちづくりの視点が多様化し、都市計画関連事務が多くなっている。				B	改善案	適正な役割分担を行い、関連部署との連携等を図る。					
②		都市計画決定等事務 (経常的事務事業)	都市計画決定事項	都市計画に関する必要な事項を定め、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。	都市計画法に基づき適正に都市計画決定を行う。	都市計画法に基づく都市計画決定事務を行った。都市計画審議会3回開催(市決定分)	1.05	0	185	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 都市計画決定における関係者や市民等への周知や説明に要する事務が多様化し多くなっている。				B	改善案	効率的な事務執行に努める。						

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③ 都市計画許認可事務 (経常的事務事業)	都市計画関連法の許可事項	文化的な都市生活や機能的な都市活動の確保を図る。	都市計画に関する許認可事務を適正に行う。	都市計画法に基づく都市計画に係る許認可の手続きや調整等を行った。	0.45	0	0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 権限移譲により許認可事務が多くなっている。			B	改善案	適正な組織や役割分担が必要であり、効率的な事務執行に努める。			
	④ 周南道路関係事務 (ソフト事業)	周南道路	周南都市圏の地域活力、産業力、安全力を確保する。	周南道路の事業化を図る。	期成同盟会の活動、周南市としての要望活動を行った。	0.15	0	100	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 10年度に地域高規格道路「候補路線」に位置付けられてから、期成同盟会等の活動を行っているが、事業化の進展が見られない。			B	改善案	国や県、関連施策との連携を取りながら事業化の促進に努める。			
	⑤ 屋外広告物許認可事務 (経常的事務事業)	屋外広告物	屋外広告物の規制を行うことで良好な都市空間や景観の形成を推進する。	屋外広告物法、山口県屋外広告物条例に基づき屋外広告物に関する許可申請事務を行う。	平成26年は変更・更新を含め559件の屋外広告物申請があった。	0.5	0	39	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 申請件数が年々増加し、事務量が多くなっている。			B	改善案	効率的な事務執行に努める。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	権限移譲や法改正等により、多くの業務が市に移譲されている。	前年度までの指摘事項	将来に向けたまちづくりを担う重要な事業であり、周南市都市計画マスタープランを基に、今後も次のまちづくりに繋げるように着実に推進していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	経常的な業務ではあるが、安全で快適に暮らしていけるまちづくりを図るため、諸法令に則り、計画的な事務執行に努める。
	細事業の課題・問題点	今後も、権限移譲等により都市計画に係る業務が増加し、また多様化してきているので対応が必要。	事業全体の課題・問題点	効率的な事務執行を図るため、適正な組織編成が必要であると思われる。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	都市計画及びまちづくりの一翼を担う貴重な事業であり、行政が円滑な都市活動が図れるように誘導していく必要がある。	改善案	都市計画行政を行う経常的事務であり、限られた財源の中で、また役割分担を明確にすることにより、事務の効率化を図り、円滑な執行が行えるように努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 今後の人口減少、高齢化に対応した集約型まちづくりを、着実に進めて行く必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600401
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(1)快適で利便性の高い都市計画の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
景観行政に係る通常経費を合算。臨時的経費の皆減。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・都市計画課	評価者 (課長)	有馬善己	評価責任者 (部長)	岡村洋道
事務事業コード	292010	事務事業名	景観行政推進事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	V2 快適な生活環境で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	良好な景観の形成			【 実施なし 】 %	
	推進施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の景観資源を発掘し、良好な景観の形成や保全を図るため景観計画を策定し、市民共通の財産として次の世代に引継いでいきます。</li> <li>●駅周辺の拠点地区において賑わいと活気を感じる景観の創出を促進するとともに、市街地においては緑豊かな景観の保全・形成に努めます。</li> <li>●景観まちづくりの意識の醸成を図り、市民の積極的な参画・協働により、各地域固有の景観の形成・保全を推進します。</li> </ul>			25年度市民評価の満足度	
					【 実施なし 】 %	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民、事業者、行政	意図(どういう状態にしたい): 景観まちづくりを推進することにより、周南市の魅力や活力の高揚を図り、持続可能な地域の構築及びコミュニティの維持向上に繋げたい。	事業の内容 (手段)	周南市景観計画の目標実現に向け、推進方針に掲げる市民と行政の協働による景観づくりを推進しており、景観届出対象行為については、届出により景観形成ガイドラインに基づいた誘導を行なっている。また、景観形成団体の育成を行うために、景観まちづくり活動支援補助を実施している。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○景観届出は、588件(事前協議30、届出527、通知11、変更届出20)であった。 ○市民の積極的な参画を目的とした景観まちづくり支援事業は3団体が交付決定を受け、活動の実績報告があった。 ○景観審議会を開催し、景観届出の状況等を同委員に報告した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	660	617	538	0		0						
事業目標	目標名	景観届出件数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	650	607	488	0	0
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	392	392			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	300.0	600.0	600.0	600.0	600.0	(決算額)	うち一財	千円	392	392			
	実績値	250.0	767.0	588.0			正職員人件費	千円	9,523	14,790				
	達成度(%)	83.3%	127.8%	98.0%			人工数	人	1.30	2.00	1.35			
							支出コスト	千円	決) 9,915	決見) 15,182				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	景観形成推進関連事務 (ソフト事業)	周南市民	市民共有の財産としての良好な景観を形成及び保全する。	届出行為の内容を審査し、景観形成基準に沿うように誘導する。また、迅速な事務処理を行う。	景観活動団体への景観行政の説明を行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.35	0	0	否	否			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 良好な景観形成を地域主体の活動として取り組む必要がある。						細事業評価							
②	景観届出審査事務 (経常的事務事業)	周南市民(景観届出行為者)	市民や事業者と連携し、周南市らしい心地よい景観の形成及び意識醸成を推進する。	届出行為の内容を審査し、景観形成基準に沿うように誘導する。また、迅速な事務処理を行う。	年間、588件(事前協議30、届出527、通知11、変更届出20)の届出があり、制度への認知度は進んでいる。		1.2	0	136	否	否			
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 届出制度の周知を図り、景観に対する意識の醸成を図る。						細事業評価								
							B	改善案	景観意識の醸成を図っていく。					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	景観審議会の運営 (経常的事務事業)	周南市景観審議会委員	周南市らしい良好な景観形成と保全を推進し、地域の特性を活かした景観まちづくりを推進する。	良好な景観の形成に関する重要な事項等について意見を求めたため、景観審議会を開催運営する。	H26.6に景観審議会を開催し、景観届出状況等の報告を行った。	0.25	0	26	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特に無し					細事業評価						
	④	景観形成支援補助金の交付 (ソフト事業)	周南市民	景観まちづくりに対する意識醸成及び普及啓発と周南市らしい良好な景観形成と保全を推進する。	景観まちづくり活動事業に必要な経費の一部を補助する。	3団体から申し込みがあり、事業を実施した。	0.2	0	230	可	否		
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 H27年度からは、既に景観まちづくり活動を行っている団体・グループに対して支援を行う。					B	改善案	今後の方向性を検討する必要がある。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
課題・問題等	景観届出制度が行われており、山口県内10市においても同届出が実施されている。		庁内関係部署及び関係機関と連携を図り進められたい。
細事業の課題・問題点	景観法に基づく届出制度を、今後もより一層、市民や事業者にも広く周知し、景観形成への意識醸成をはかる必要がある。	事業全体の課題・問題点	景観計画・景観形成ガイドラインをホームページ・広報等によって周知するとともに、景観まちづくり活動支援制度や景観届出を通じて市民・事業者・行政が一体となって景観形成の意識を高めていく必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南市景観計画を市民や事業者等と協働で推進するために、届出制度や景観形成団体の育成等は、有効な手段となっている。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 豊富な景観資源を活用したまちづくりを市民と協働で推進し、次世代へつなげる必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600401
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(1)快適で利便性の高い都市計画の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
景観まちづくり活動支援補助を、平成27年度末をもって終了するため、都市計画一般事務費に通常経費を合算した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部・都市計画課	評価者 (課長)	有馬善己	評価責任者 (部長)	岡村洋道
事務事業コード	331022	事務事業名	都市施設調査事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	快適で安全なまちづくりの推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	都市計画の総合的な指針となる「周南市都市計画マスタープラン」に基づき、地域特性に応じた個性ある魅力的なまちづくりを進めます。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 都市計画施設(道路、公園)の見直し		意図(どういう状態にしたい): 周南市の将来像及び都市像に適合した持続的なまちづくりや都市機能の整備に繋げる。		事業の内容 (手段)	都市計画施設(道路、公園)の現状とともにまちづくりの方向性を把握し、都市計画施設の見直しにおける方向性・方針、タイムスケジュール等を検討する。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	H25に都計審より報告を受けた「長期未着手の都市計画道路見直し」案について、地元の見解を聴取するため、中溝・今宿・岐山の3地区で第1回目の意見交換会を行った。 また、岐山地区については都市計画道路のルートを見直し、現実的な代替ルートの検討業務を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,987	5,000	2,000	2,000		2,000						
事業目標	目標名	方針策定数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,987	5,000	2,000	2,000	2,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,133	3,177		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	(決算額)	うち一財	千円	3,133	3,177			
	実績値	1.0	1.0	1.0			正職員人件費	千円	8,058	9,244				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	1.10	1.25	0.75			
							支出コスト	千円	決) 11,191	決見) 12,421				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	都市計画道路見直し調査検討 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	本市に必要な都市計画道路網を構築し、計画的なまちづくりを推進する。	都市計画道路見直しの方向性をまとめ、地元との合意形成に向け意見交換会や説明会等を行う。	都市計画道路の見直しの方向性について、地元と意見交換会を実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.75	0	3,132	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 長期にわたり、都市計画に係る建築制限や土地利用の支障が発生していることや、見直しの方向性について市民及び地元住民の理解や合意形成が必要である。					改善案	地域住民や市民への意見聴取のため意見交換会等を実施。						
②	都市計画見直し特別委員会の運営 (経常的事務事業)	周南市が行う事務事業	専門的な見地から効率的・集中的に行うため委員会で見直しの方向性をまとめる。	24,25年度でまとめた見直しの方向性について地元との調整を行う。	H27.3月に都市計画道路の見直しに関する最終報告を行い、特別委員会の解散を行った。	0.5	0	45	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 都市計画道路の見直しに当たっては、国県との調整、地域住民及び市民の理解、都市計画審議会への報告等が必要であり、委員会開催等のスケジュール調整が重要である。					改善案	検討内容やスケジュールを精査し、計画的かつ効果的な事業執行を行う							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	都市計画決定後30年以上未着手の都市計画施設が多くあり、市街化等土地利用の進展、交通量等の交通体系等が計画当時と比べ大きく変化してきている。	前年度までの指摘事項	長期未着手都市施設の今後の方向性を検討するもので、将来のまちづくり方針を示す重要な事業である。今後、縮小社会が進展する中において、必要性を検証し適正な見直しを行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	都市施設の調査に必要な内容を選択・精査し、効率的な事務執行を図る。
	細事業の課題・問題点	見直しの方向性をまとめるにあたり、専門的、客観的、かつ総合的な視点での検証が必要であり、見直し委員会での検証、市民や地域住民への意見聴取、都市計画審議会での審議等、多くのステップを踏んで進める必要がある。	事業全体の課題・問題点	都市計画法による建築制限が長期にわたり継続するなど、民間開発等民間への影響や問題が大きく、見直しに当たっては市民や関係者等の理解や合意形成が重要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	本市の持続可能なまちづくりの展開・推進に必要なものであり、また将来の都市基盤・機能の構築に繋がるものである。	改善案	地域住民の理解及び合意形成を図りながら計画的に進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 集約型まちづくりを進めるための根幹となる施策であり着実に成果を出す必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600401
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(1)快適で利便性の高い都市計画の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
長期未着手の都市計画道路の見直しについて、対象地域で意見交換会を実施し、関係者等の意見を踏まえた計画的な施策となるように改善。

備考